



SPIO Newsletter

The Society for Promotion of International Oto-Rhino-Laryngology

平成23年4月30日(土)

11

第11号

財団法人
国際耳鼻咽喉科学振興会

— ご 挨拶 —

理事長 野村 恭也



日本は3月11日に生じた未曾有の東日本大震災及び原子力発電事故により大きな被害を受けました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。すでに復興への動きは始まっておりますが、原発事故につきましては収束の目処も立っておりません。本年、国内で開催予定の国際学会が心配になります。予定通り開催されるよう事態の改善を願っております。電力不足に対して各方面で節電が行われておりますが、日頃、われわれは如何に電力に頼って生活してきたか目覚めさせてくれました。今までの生活習慣を振り返り反省するよい機会であります。

SPIOにとって昨年の最重要課題は新公益法人への移行問題でした。すでにご存じのように平成20年12月1日に公益法人制度改革関連法が施行され、平成25年11月末までに公益財団法人か一般財団法人へ移行の手続きを取らねばなりません。SPIOは現在、特定公益増進法人のため、公益認定を受けるべく平成20年3月より準備に取り掛かり、平成22年9月22日に申請書類を電子申請にて内閣府に提出いたしました。当初平成23年4月1日登記を目標に準備していましたが、定款および事業内容の変更等が必要となり、既に半年を経過しておりますが年度を超えることとなりました。申請の数も急に増加してきており、これも審査が長引いている原因であると思います。現在SPIOは補正修正申請を行う段階まで来たことでかなり前進したと考えています。

平成22年度は若手外国人留学生6名に対して研究助成金各25万円を交付いたしました。6名の国籍はタイ2名、フィリピン、中国・新疆ウイグル自治区、エジプト、フランス各1名です。戸田SPIO奨学金受領者は5名(学会出張3名、留学2名)で各20万円を助成しました。外国人受賞者の帰国後の活動状況については把握が困難ですが、今回、平成10年度研究助成金受領者であるポーランドの女性医師Tryka氏から近況が届きましたのでご紹介いたします。また、戸田SPIO奨学金受領者の小西将矢氏からはイタリアから近況が届きました。受領者とは今後も連絡を取り合っていきたいと思っております。

SPIO Awardの選考委員会が平成23年2月22日に開かれました。Auris Nasus Larynx誌の37巻には原著論文が79篇掲載されましたが、ANL編集委員会で19編に選ばれ、そのうちの3篇が選考委員会へ推薦され、吉本世一氏(国立ガンセンター)に決まりました。今回久しぶりに、候補3篇の中に海外からの論文がありましたが、投票の結果は次点となりました。海外からもっと多くの優れた論文が寄せられることを期待しています。

平成22年度にSPIOが助成した国際学会は7学会、国内学会は30学会でした。SPIOは助成財団です。その財源は賛助費、寄付金、学会指定寄付金等ですが、今後は広く一般の方々からもご寄附いただけるような方法を考えていきたいと考えております。皆様方からのお知恵も拝借いたしたくよろしくお願い申し上げます。

平成22年度事業報告

1. 国際学術交流に対する助成
2. 国際学術会議等への助成
3. 留学生(6名)への研究助成
4. 若手日本人(5名)への渡航費助成
5. SPIO Award受賞者の選出
6. ホームページ更新
7. ニュースレターの作成

平成22年度収支決算報告

5月開催の理事会・評議員会終了後に、ホームページを更新致しますのでご覧下さい。

SPIOクラブ

第112回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会の会期中、伊藤壽一会長のご好意により会場内にSPIOクラブを設け、SPIOの助成活動のご案内及び賛助員の申し込み受付を行います。皆様が自由に懇談いただける場、情報交換の場として、是非お立ち寄りください。

平成23年5月19日(木)・20日(金) 10:00~17:00
国立京都国際会館 1階 Room 101